

夢を持つこと

校長 村上俊二

新しい年、平成二十八年を迎えました。本年が幸せな一年になりますよう、どうぞよろしく願います。

始業式で、子ども達に「新年の夢や目標を描きましたか。」と問いかけると、「はい」という返事がたくさん返ってきました。夢や目標に向かって、ひたすら努力する、そんな一年にしたいと思います。

「無い袖は振れないと言いますが、夢を持たない人は夢を実現しようがない。夢は多く持てば持つほど、将来に希望が持てるのです。」これは、電気を通すプラスチック・ポリアセチレンの発見で、二〇〇〇年にノーベル化学賞を受賞した白川英樹博士の言葉です。「やりたいことはいろいろありました。特別な頭を持っているわけではないのです。努力はしましたが。」に続いて先の「夢を持つ」という言葉を話されています。「夢を実現しようとするには、なにがしかの努力が必要かもしれません、ともかく夢を持つことが大切ではないかと思えます。」と結ばれています。

「夢は自分でつかめる。自分から動けば夢は形になるんだ」ということを、私たち大人は、常に子ども達に伝え続けたいものだと思います。